



# 地域の再生を肌で感じる 復興体験学習

福島県に到着した生徒たちは、震災後の交通規制が解除され、全線再開から間もない国道6号線を北上し、復興工事の様子を視察しながら南相馬市を目指しました。



## 1 被災沿岸部視察 (天神岬スポーツ公園)



公園内の展望台から被災沿岸部を視察しました。福島県沖に浮かぶ世界最大規模の浮体式洋上風力発電所も望み、生徒たちは一歩ずつ復興に向う福島の姿を自分の目で確認していました。

## 2 地域住民との交流 (食堂 おだかのひろごはん)



原発事故後、避難地域となった南相馬市小高区内に初めて開店した食堂を訪れ、福島県産の食材を使用した昼食を味わいました。従業員から開店の経緯を聞くなどの交流も行い、故郷や帰還への思いを感じていました。

## 3 水力発電体験・復興講演 (南相馬ソーラー・アグリパーク)



施設内の見学や、水力発電の体験学習から再生可能エネルギーについて学び、代表者から復興に関する講演を聞きました。生徒たちは代表者の言葉に真剣に耳を傾け、被災地の未来について考えていました。

### VOICE ふくしまへ メッセージ

水戸平成学園高等学校  
すずき のりちか  
教諭 鈴木 徳親 先生



情報番組で今回訪れた施設や南相馬市の現状を特集しているを見て、生徒たちにも福島のあるままの今を見せたいという思いから、復興体験学習を実施することとなりました。茨城県も被災地ですが、当時の記憶は日々薄れつつあります。福島で学んだことを周囲と共有し、震災の教訓を忘れないでほしいです。

### 学校紹介

#### 水戸平成学園高等学校

(茨城県水戸市)



自分で学びたい教科や科目を選択するなど、生徒の個性や能力に応じた学習スタイルを選択できる通信制・単位制高等学校です。今回の復興体験学習は社会科の授業の一貫として実施されました。福島の実状を学んだ生徒たちからは、震災を風化させないことや、被災地復興へ関心を持つことへの意見が多くあがっていました。

### News!

#### 被災地復興へ繋がる「希望の道」

～常磐自動車道新区間が開通！～

平成26年12月6日(土)、東日本大震災の影響で建設が停滞していた、常磐自動車道浪江ICから宮城県の山元ICまでの未開通区間が開通しました。今回の開通により宮城県仙台市から福島県浪江町までのアクセスが良好となり、その所要時間は約1時間30分ほどとなります。

新区間は開通と同時に多くの人々に利用されており、今後の被災地復興の加速や地域を活性化させる「希望の道」として期待が寄せられています。

常磐自動車道は平成27年3月に全線開通する予定となっており、宮城県、福島県浜通り地方、首都圏を結ぶ新たな交通経路となります。

